

## 取扱いの趣旨

静脈、動脈にカテーテルを挿入する心臓カテーテルによる諸検査は、検査終了時の止血として主に圧迫止血を必要とする。したがって、心臓カテーテル法における出血時間は、血小板機能を始め血管壁やその周囲組織の状況を把握する基本的な検査として認められる。

## 支払基金が公表している取扱いの全文

【検査】

《平成17年4月25日》

### 5 出血時間（心臓カテーテル法）

#### ○ 取扱い

心臓カテーテル法による諸検査施行前の出血時間は認められる。

#### ○ 取扱いを定めた理由

心臓カテーテル法による諸検査には、右心・左心カテーテルを含む。それぞれ静脈、動脈にシースイントロデューサーを挿入し、必要とするカテーテルにより検査を施行する。検査終了時の止血は主に圧迫止血である。

活性化部分トロンボプラスチン時間（APTT）、プロトロンビン時間（PT）はそれぞれ内因系及び外因系の止血異常を、また、出血時間は血小板機能を始め血管壁やその周囲組織の状況を含めた止血検査の基本となるものであり、心臓カテーテル検査を実施するに当たって有意義な検査と認められる。

## グラフの見方

### 1 棒グラフ（対象レセプトの審査結果）

出血時間を算定しているレセプト1万件当たり、条件（心臓カテテル法による諸検査前の検査として出血時間を算定）に該当するレセプト件数

### 2 折れ線グラフ

該当レセプトのうち、出血時間が査定・返戻となった割合

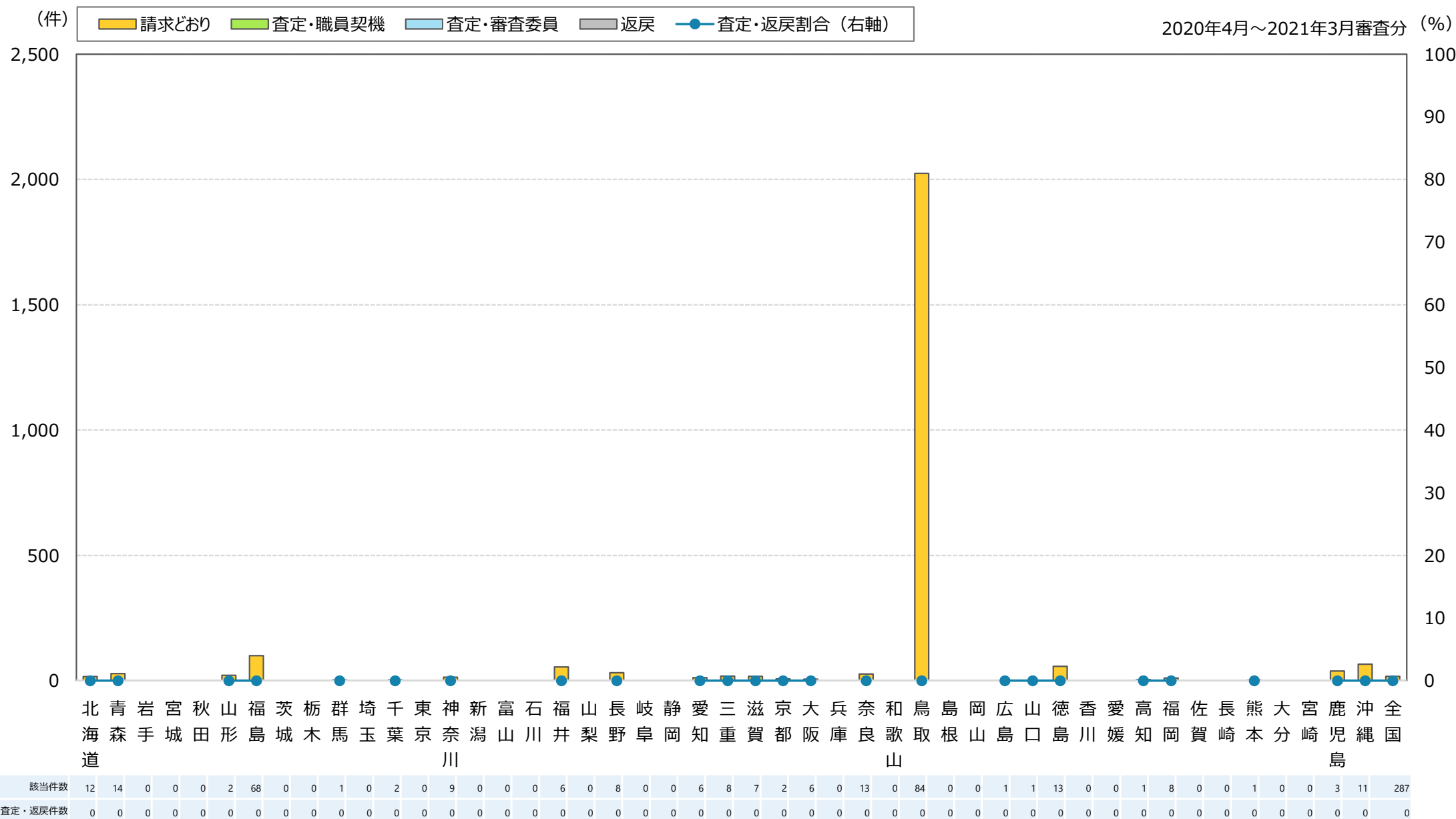
【棒グラフ凡例】 審査の結果

|            |            |    |          |
|------------|------------|----|----------|
| 請求どおり      |            |    | : 取扱いどおり |
| 査定<br>審査委員 | 査定<br>職員契機 | 返戻 | : 検証が必要  |

## 審査結果の概要

- 全国の査定・返戻割合 0%
- 該当レセプトはすべて取扱いに基づく審査が行われている

| 検証観点         | 特に検証を要する支部                  | 備考   |
|--------------|-----------------------------|------|
| 査定・返戻割合が高い支部 | －                           |      |
| 査定・職員契機      | －                           |      |
| 査定・審査委員      | －                           |      |
| 返戻           | －                           |      |
| 該当件数（全国）     | 心臓カテテル法による諸検査前の検査として出血時間を算定 | 287件 |
| 取扱いに基づく審査    | 請求どおり                       | 287件 |
| 検証を必要とする審査   | 査定・返戻の計                     | 0件   |



【該当件数】 心臓カテーテル法による諸検査前の検査として出血時間を算定しているレセプト件数